

# 安保・戦争国会粉碎へ!

2015年8月14日  
No.311

Tel 03-3651-4861

mail\_cn001@zengakuren.jp

http://www.zengakuren.jp/

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

## 8・6ヒロシマ大行動に1100名結集!

### ●原爆ドーム前集会での斎藤全学連委員長発言

今年の8・6ヒロシマは戦後の歴史転換になっている、そういうふうには思っています。この2015年は安倍政権によって安保関連法案、いわゆる戦争法案が強行採決され、そして参院で通ろうとしている。そして3・11から4年以上経って今多くの人たちの怒りによって止められ続けてきた、原発の再稼働がもう一度強行される。反戦運動・反核運動が本当に力をもちなくちゃいけない。こういう情勢の中の8・6ヒロシマの闘いです。



この時に広島市長の松井は、「安保関連法案に言及しないこと」を7月23日の記者会見で声明し、そして本日この戦争法案を強行採決した安倍首相をあの平和記念式典に呼んで「広島の思いを分かち合おう」、こういうことを言っているわけです。みなさん私はまさしく、こういう風なあり方こそが、安倍首相のようなやつらをのさばらせてきたんだと思います。怒りを怒りとして、思いを思いとして自分たちの行動で私達はいまこそはっきりさせなくちゃいけません。この8月6日という日を、私達は原爆ドーム前で「安らかに眠ってください。二度と過ちは繰返ませぬから」あの慰霊碑の前で言い続けてきたんです! 単なる慰霊の問題としてではなく、祈りの問題ではなくてこの広島である8月の6日、多くの人たちが命を奪われた現実に対して二度と戦争をさせないために、そのために私達は行動してきたんです。

みなさん、松井市長のこういうあり方、そして安倍首相がこの広島にくることに対して今こそ広島の方々とともに、全国の思いとともに安倍首相を広島からたたき出していく。そういう8月6日にして行こうじゃないですか!

本日、私達は黙祷の後にデモをします。広島市民のみなさん。そして8・6ヒロシマにこられたみなさん。ともに私達とともにデモをしましょう。

戦争反対だけでも軍需産業に勤めている、戦争反対だけでも軍事研究をしている。そういったありかたを本当にいま変えていかなくちゃいけない。みなさん、それは戦争反対の思いを引き継いでるんじゃなくて戦争反対の思いを言い訳にしているだけです。

私達全学連は、国会に全力で安保法案粉碎の闘いにつとめるとともに自分達の大学・キャンパスで軍事研究、経済的な徴兵制、文系学部の廃止。こういった戦争動員の大学政策にたいして、大学の中から戦争反対のストライキを実現していきたいと思っています。

この秋には広島大学で、学生自治会選挙にも取り組んでいく決意です。みなさん、是非ともに闘っていきましょう。本日のデモを、広島市の怒りを形にしていく闘いとともにしていきましょう。

### ●原爆ドーム前集会での赤嶺沖大自治会委員長発言

みなさん、今日僕は広島の怒りと連帯するために駆けつけました。僕は今日、ここにくるにあたって今一度8・6だし、この戦後の闘いを学びましたが、やっぱりこの広島の怒りっていうのは安倍と徹底的に非和解の怒りだと思います。まさしく沖縄もそうですが本当に戦中、1%のブルジョワジーが昭和天皇ヒロヒトが自分の自己保身のために戦争を長引かせて沖縄戦や、ヒロシマ・ナガサキが作られていった。戦中に愛国心を煽りながら、戦後は米帝と一緒に被爆隠しや被爆者の声を潰す。これを一体となって日本政府はやってきた。ほんとにふざけている! そして今もう一度、広島の怒りを押しつぶして、核武装をやって戦争をやろうとしている、こんな安倍とぼくたち労働者階級が「平和共存」なんてありえない! 本当に今日の行動を安倍政権を倒す、この大デモを、大闘争をしていこうじゃないですか! みなさん、今沖縄では辺野古新基地建設、そして戦争法の怒りと一体となってますます怒りは爆発してる。7.15-7.16の安保法制の強行採決っていうのは、本当に沖縄の、労働者・学生のキャンパス・職場からの怒り、



### ●参院採決阻止! 安倍たおせ! ゼネストで戦争とめよう!

## 8・20国会デモ&抗議集会

8月20日(日)

11時半

正午

14時半~

16時~17時

日比谷公園霞門集合

霞が関一国会デモ

防衛省に申入れ行動

国会前抗議集会

(衆議院第2議員会館前)



これをどんどん爆発させて、沖縄のゼネラルストライキ情勢をさらに激しくしていくものになりました。

みなさん、僕の沖大キャンパスでも本当に激しく怒りが爆発しています。僕は7.15-7.16に沖大生を代表して国会前にいきました。国会前で「強行採決絶対反対・安倍政権倒そう」と訴え、このうねりを沖大に帰ってくるとやっぱり沖大生もすさまじい怒りをもって、みんなテレビで強行採決をみていて、そしてあの強行採決の現場にいた僕をみていた多くの沖大生が、「テレビ見ましたよ」「映ってましたよ」と、「よくぞ言ってくれました」「本当に凄く頑張ってるよ」こういった怒りを爆発していました。

普段分断される中でピラを受け取らない、そういった学生がどんどんピラを受け取って、署名に応じていく。そしてある学生は、僕に「もう戦争が本当に許せないんだ。毎日毎日徴兵が始まるんじゃないか。戦争が始まるんじゃないか。そうやって、夜も眠れない。授業なんて受けていられない。」「本当に学生自治会がやっていることは当たり前だし、この大学は絶対におかしい」そうやって自分の思いを、僕に語ってくる。こういった学生も出てきています。

本当に今、沖縄大学当局は学生自治会にたいして「7月からはテスト期間なんだから、戦争反対の訴えっていうのは迷惑なんだ。」そうやって言ってきた。しかし、多くの沖大生があの強行採決に怒りを燃やしていたわけじゃないですか！

本当に学生の声を押しつぶす、学生の戦争許さない、授業も受けていられないこの声を押しつぶして、そんなことよりも授業が大事なんだ。そんなことよりも就活が大事なんだ。そうやって押しつぶす沖大に沖大生全員が怒りを燃やしているわけです。本当に沖縄大学でもストライキが巻き起こっていくような怒りがあります。本当に沖大から戦争絶対反対のストライキを絶対に作っていきたくて思っています。この沖縄のゼネラルストライキに向かっていくような、8~9月の安保国会決戦、決戦過程でゼネストが起きようとしている沖縄の怒り。これに恐怖しているのは、日帝・安倍政権だけではありません。「オール沖縄」勢力、彼らも労働者の怒りがストライキになる、これを恐怖しています。

「オール沖縄」勢力っていうのは、「野党総結集」と言って自民党や共産党とも手を組んで、「階級調和」を主張して、「日本の安全保障を国民全体で考えよう」と言って、基地を全国に分担・配備しようとして主張して、沖縄の階級的な怒りの解体を狙って、一方では職場での民営化を進めながら基地の承認取り消し判断、こういったものに労働者の怒りを押しとどめようとしている。しかしみなさん沖縄の怒りっていうものは、こんなものに押さえつけられるものではありません。本当に僕達が、ゼネストと国際連帯で戦争をとめていく。本当にみなさんと連帯して巻き起こしていきたくて思っています。本当に帝国主義者の1%のブルジョワジーが核戦争をやれと恫喝している現実にたいして打ち勝てるのは、国際連帯でありゼネストの闘いです。ゼネストで革命を巻き起こしていく、そういう闘いを巻き起こしていきましょう！

## ●ヒロシマ大行動での広大自治会・森田君発言

全国からこの8・6集会に多くの仲間が駆けつけてくれている事、このことを思ったときに、私は去年、学生自治会の団結にかけて、集中講義をぶっ飛ばしてこの8/6闘争に参加したことを思い出しました。行きたかった大学院の院試を蹴って、8・6行動に参加したこともありました。私はこういった、本当に生き方をかけた、そういう行動が今こそ求められていると思わずし、親からは色々言われましたけれども、改めて、こうやって人生をかけて行動に立ち上がることに、これが本当に誇りを持って訴えられる、そういうよりは、安倍政権の集団的自衛権、安保法制の閣議決定によって、強行採決を持って本当に火蓋を切った、多くの人が怒りを持って立ち上がっている。そこに答えることができる、そういうふうに思います。今日も記念式典の中でもですね、安倍に対して直接的にヤジがかけられたと。私達のデモと一体となって安倍に怒りがぶつけられたということですけども、本当に、式典の内外で「祈り」や政府にお願いするんじゃなくて、自分たちで安倍を倒すんだと、戦争法案を止めるんだと、そういううねりが巻き起こっているということだと思います。



今、シールズのような、体制内の運動の、指導部に内容が無いということをもぐって、学生たちが本当に戦争を止める内容・展望を求めて、行動に立ち上がっています。7/20にはついに広大生自身が、安保法強行採決反対、そのデモを打ち抜きました。学生は本当に戦争を止める、この生きられない日常を変えていく、この内容を求めて行動を行っている。今日も多くの広大生が記念式典をはじめ様々なイベントに、この広島市内に集まっているという風に思います。毎年、私にとって8/6、院試をぶっ飛ばしたり集中講義をぶっ飛ばしたり決意が問われる、そういう期間ですけども、改めて大学、学生自治会のメンバーとして、広島大学学生自治会選挙を打ち抜くと、そういう決意を表明したいと思います。これを通して多くの広大生に本当に訴える、戦争を止める展望が学生自治会にこそあるんだと、そういうことを訴えていきたいという風に思います。

戦争を止める展望は、戦争協力を拒否する、大学の中で闘うということ。そのために団結が必要です。その団結体として学生自治会があるんだと、このことを本当に確信して、訴えていく、ストライキで闘っていく、そういう一大決起を後期、作っていきたくて思っています。

皆さん、今日もこれからのデモを打ち抜いて闘っていきましょう。キャンパスで闘っていきましょう。よろしくお祈りします。

## 【当面する行動方針】

### ●“安倍70年談話粉碎” 8・15労働者市民のつどい

8月15日(土) 13時～ すみだ産業会館・サンライズホールにて (JR錦糸町駅南口向かい側「丸井」8階)

### ●9・2~3 全学連第76回定期全国大会

9月2日(水)~3日(木) 2日の午前9時半に開会 ※3日の議事終了後に国会へデモ  
浜町区民館にて(東京都中央区日本橋浜町3-37-1)  
参加費1000円(2日間で)

### ●武田雄飛丸君「暴行」でっち上げ裁判控訴審・第1回

9月10日(木) 13時半～ 東京高裁にて ※傍聴券配布のため、13時までに裁判所入口脇に集合してください。

